

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	障害児通所支援事業所 チェリタン			
○保護者評価実施期間	2025年1月24日		～	2025年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44名	(回答者数)	24名
○従業者評価実施期間	2025年2月12日		～	2025年2月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月28日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者のお迎え時、特にお子様へ関わった職種の職員が普段と違う様子や細かな発達の変化などを報告し共有する事で、保護者の不安や困り事の聞き取りしやすい環境を作り、安心感と信頼感に繋げている。 (児童発達支援・放課後等デイサービス共通)	<ul style="list-style-type: none"> お迎え時には、保育士や看護師がお子様の利用中の様子や体調面で気になった事などを丁寧にお伝えをする。 水戸特別支援学校や相談支援専門員と必要に応じて迅速に連絡を取り合い、お子様の様子等について情報の共有を図っている。 	引き続き、お子様の様子などを保護者様に丁寧にお伝えしていくと共に、お子様を取り巻く関係機関と連携を図り、様子などについて情報の共有、相互理解に努め、地域移行などの必要な支援を提供していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童発達支援及び放課後等デイサービスを利用しているお子様の兄弟児同士の交流の機会が少ない。 (児童発達支援・放課後等デイサービス共通)	コロナウイルス感染症等の影響もあり、兄弟児が参加できるようなイベントの計画が出来ていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者を対象に「どのような事をしたいか」などをモニタリング時や送迎時にお聞きし、ニーズを把握していく。 ・感染症対策を講じた上で、兄弟児同士が交流を図れるようなイベントを計画、実施していきたい。(夏祭りや家族参加型外出行事等)
2	放課後でのご利用ゆえ、集団での活動を計画するも実施が出来ない状況がある。 (放課後等デイサービス)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用時のお子様の体調面などを考慮し、休息の時間として対応をしている事がある。 ・1つのスペースで活動する事が多い為、他のお子様の様子(緊張の程度や発作後の休息など)を配慮し、集団での活動から個別活動に切り替える事がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝の職員ミーティング時に本日の予定(活動内容)を報告し、職員間で活動が行えるよう、業務調整や環境調整などを行っていく。 ・公共施設や機関などと連携し、地域との繋がりを深めながら、お子様同士が交流を図れるような行事や活動を計画していく。
3	経年劣化により、事業所内外のメンテナンスが必要な箇所がある。 (児童発達支援・放課後等デイサービス共通)	事業所が築10年を超えた事により、湿気や日照、温度等により経年劣化が認められる。	関係部署に現状報告した上で、補修や修繕を計画的に実施していく。